

北方対策本部 令和8年度 概算要求(案)のポイント

令和8年度概算要求額 **19億82百万円**令和7年度予算額 17億18百万円
(対前年度比 2億64百万円増、115%)

重点課題

- ① 北方領土隣接地域における地域一体となった地域振興にも資する啓発促進策の検討
- ② 啓発施設の老朽化対策への対応
- ③ 着実な国民世論の啓発（特に若い世代への啓発）

主な事業

●北方領土隣接地域における地域一体となった啓発促進策についての調査研究（20百万円）

<継続>

- 北方領土隣接地域に多くの人を継続的に呼び込み、北方領土問題に関する関心喚起・理解促進を図るとともに、隣接地域の振興にも資するよう、地域一体で進める取組等、効果的な啓発の在り方を検討。



●北方領土館の基本構想・基本計画の策定、啓発施設の老朽化対策（1億43百万円）<新規>

- 調査研究と並行して、北方領土館の建替えに向けた基本構想・基本計画を策定。（20百万円）
- 啓発施設（北方館、羅臼国後展望塔）の老朽化に伴う改修工事を実施し、施設の安定的な運営を行う。（1億23百万円）

●昭和100年節目啓発事業開催費（1億4百万円）<新規>

- 「昭和100年」の節目の年を契機として、特に若年層を対象とした参加型プログラムやステージイベント、ワークショップ等を各地域で開催し、北方領土問題への正しい理解を深め、今後の返還要求運動への参画を促す。

